

賃貸住宅を契約するときのチェックポイント

借家やアパートなどを退去するときにはばいばい発生するのが、原状回復と敷金の精算をめぐるトラブルです。

これらは、賃貸契約の前に注意を払うことで、その多くを未然に防ぐことができます。

これから賃貸住宅への入居をお考えの方は、次のチェックポイントを、ぜひご確認ください。

トラブルを未然に防ぐために

◎契約の前に、敷金や礼金の条件、風呂、トイレ、台所の整備状況、契約を解除したときにかかる費用などの重要事項について、詳しく説明を受け、疑問な点はしっかりと確認しましょう。

◎契約書を見て、退去時にどのような負担があるのか確認しましょう。本来貸した人が負担すべき費用も、借りた人の負担となっているものが見受けられませ

◎入居時や退去時の物件確認をしましょう。日付け入りの写真を撮っておくと良いでしょう。

◎入居中はマナーを守り、修繕な



どが必要になった場合は、放置せず、こまめに貸主と連絡を取りましょう。

『敷金の精算』として借りた人が負担する『原状回復費用』とは、完全に入居時の状態に戻すのではなく、借りた人の故意や不注意などで生じた損耗やキズなどの破損部分を元に戻すことをいいます。経年劣化や自然損耗、通常使用による変化まで借りた人が負担する必要はありません。

詳しくは、北海道のホームページに掲載されています。<http://www.pref.hokkaido.jp/kensetu/kn-ksido/fudousan/genjoukaifuku.htm>。

▼問い合わせ 市民課

(☎1855)

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

登別地区レクダンスサークル

『登別地区レクダンスサークル』は、昭和62年、登別市婦人短期大学の活動で、レクダンスの魅力を知った有志が集まり結成しました。現在、会員は50代から80代までの48人。第1・3木曜日は、講師に吹越愛子さんを迎え新曲を練習、第2・4木曜日を自主練習日として、月4回、婦人センターで10時から12時までレクリエーションダンスを楽しんでいます。

また、会員相互の親ほくを図ることを目的に、発足以来、年4回手づくりパーティを開催し、踊りを楽しみながら、少しでも社会に役立ててほしいと、チャリティー募金など、募金活動にも協力しています。

昨年、友人に誘われて入会した会田とし子さんは、「設立して17年もたっている会なので、とまど



いもありましたが、会の雰囲気も和やかで、メンバーの皆さんに支えられながら頑張ってきました。今では楽しくて、練習日が待ち遠しいです」と笑顔で話してくれました。

「6月で18年を迎え、楽しいから、好きだから参加し、仲間の和があるからこそ長続きしています。レクリエーションダンスは、誰でも、どこでも、手軽に楽しく踊ることができ、何よりも健康的です。これからも、多くの方と、一緒にレクリエーションダンスを楽しみたいですね。月2回の新曲の練習は、ベテラン会員も、新しい会員も条件は同じですから」と設立以来、会長を務める野呂弘子さんは入会を呼び掛けています。

入会を希望される方は、野呂さんまでどうぞ (☎2853)

レクダンスは、誰でも、どこでも、手軽に楽しく踊れて、健康的です

